

平成29年度 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 平成29年12月12日（火） 10:00～11:40
2. 場 所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室
3. 出席者 [委員] 出野委員、正司委員、戸田委員、中瀬委員、長谷川特別委員
[弊社] 石塚社長、酒井副社長、前川常務、高倉常務、芝村常務 他
4. 議 事

戸田委員が委員長に選任され、下記の4区間に関する再評価について審議

《評価対象区間》

- ・近畿自動車道名古屋神戸線（大津 JCT～城陽）及び（城陽～高槻第一 JCT）
- ・一般国道42号湯浅御坊道路（有田～御坊） ※4車線化
- ・四国横断自動車道阿南四万十線（鳴門～高松市境） ※4車線化

■近畿自動車道名古屋神戸線（大津 JCT～城陽）及び（城陽～高槻第一 JCT）

➤ 主な意見

- ・経済界は自治体と共同して大規模災害に備えたインフラの整備促進に力を入れているところであり、強靱な国土づくりに資する新名神高速道路の一日も早い全線開通が望まれる。
- ・関西文化学術研究都市においても新名神高速道路が開通することで、より広域から企業あるいは研究施設の立地の促進が期待される。
- ・新名神高速道路沿線の八幡市・京田辺市・城陽市などにおける開発とともに関西文化学術研究都市の開発が一体的かつ適切に行われるよう行政による総合的な計画が望まれる。

➤ 結果

- ・対応方針（原案）については了承する。

■一般国道42号湯浅御坊道路（有田～御坊）

➤ 主な意見

- ・当該区間において、大阪方面からの下り線では長距離走行により運転者は疲労を感じ始め、上り線では観光目的地からの帰路で疲れが蓄積している運転者が多いことなどから、運転者の安全走行の観点からも4車線化の早期実現が強く望まれる。
- ・南紀白浜空港は平成31年度に民営化予定で国際線チャーター便の就航が期待され、その際には外国人観光客を含めた観光客の主たる移動手段がバスであることから、定時性や利便性の向上の観点からも4車線化の必要性は非常に高い。

- ・ 暫定2車線区間の4車線化による便益の算定においては、課題となっている安全性の向上や交通渋滞の解消による便益のほか、当該道路のように路線特性から平日に比べ休日の交通量が多い場合、休日の交通量を考慮した便益の算定方法について、今後検討が必要である。

➤ **結果**

- ・ 対応方針（原案）については了承する。

■ **四国横断自動車道阿南四万十線（鳴門～高松市境）**

➤ **主な意見**

- ・ 南海トラフ地震時でも命の道として機能するように、高松自動車道の4車線化も含め四国の高速道路のネットワークの整備を進めて頂きたい。

- ・ 地域の産業について、輸送コストや輸送時間がかかると地域の産業が成り立たないことから、高松から京阪神及び徳島を結ぶ重要な路線である高松自動車道の4車線化の必要性は高い。

- ・ 当該区間だけの話ではないが、外国人入国者数の増加が地元経済にどれぐらい影響を及ぼしているかについては明らかでないため、地域観光の活性化による経済効果の検証について今後検討されたい。

➤ **結果**

- ・ 対応方針（原案）については了承する。

以 上